

(Ref S26)

(ChatGPT へ Q1)

金融の世界で大変重要な概念として KYC と AML について解説して下さい。



(ChatGPT からの A1)

金融業界では、マネーロンダリング（資金洗浄）やテロ資金供与を防ぐ為に重要な規制があり、その中心となる概念が KYC と AML です。どちらも銀行・証券会社・暗号資産取引所などの金融機関が必ず実施する仕組みです。以下で分かり易く整理します。

1. KYC (Know Your Customer)

概念：KYC (Know Your Customer) は日本語では顧客確認・顧客本人確認と呼ばれます。つまり、金融機関がこの顧客は誰か・怪しい人物ではないかを確認するプロセスです。

KYC の目的：主な目的は次の3つです。なりすまし防止・犯罪者の金融利用防止・マネーロンダリング対策

KYC で確認される主な情報：金融機関は顧客から以下の情報を取得します。

氏名・住所・生年月日・職業・身分証明書・パスポート・運転免許証・マイナンバーカードなど、法人の場合は更に、登記情報・株主構成・実質的支配者 (Beneficial Owner) なども確認します。

KYC の具体例：銀行口座を開く時、身分証提出・本人確認・住所確認・暗号資産取引所・本人確認書類・セルフイー・住所確認

これら全てが KYC のプロセスです。

2. AML (Anti-Money Laundering)

概念：AML (Anti-Money Laundering) はマネーロンダリング（資金洗浄）を防ぐ為の仕組み全体を指します。犯罪で得た資金を合法なお金のように見せる行為をマネーロンダリングと呼びます。

マネーロンダリングの典型的な流れ

マネロンは通常3段階で行われます。

1) Placement (資金の投入)

犯罪資金を金融システムに入れる

例：現金を銀行口座へ入金

2) Layering (資金の分散)

資金の追跡を困難にする

例：多数の口座に送金・海外送金・暗号資産利用

3) Integration (資金の統合)

合法資金のように見せる

例：不動産購入・会社投資・高級品購入

3. KYC と AML の関係

両者の関係は次の様になります。

AML（マネロン対策の枠組み）： KYC（顧客確認）・取引モニタリング・疑わしい取引の報告・制裁リストチェック。つまり、KYC は AML の一部です。

4. AML で行われる主な対策

金融機関は以下を実施します。

1) 顧客確認（KYC）・顧客の身元確認

2) 取引モニタリング

例：突然大きな送金・不自然な海外送金・多数の小額送金

3) 制裁リストチェック

以下の人物との取引を禁止

テロリスト・制裁対象国・犯罪組織

4) Suspicious Transaction Report（STR）

怪しい取引がある場合、金融機関は当局へ報告します。

5. 世界の AML 規制の中心

世界の AML ルールは主に、Financial Action Task Force（FATF）と言う国際組織が作っています。FATF は 40 の AML 勧告を各国に求めています。

6. なぜ金融業界で重要なのか

もし AML/KYC が弱いと、テロ資金・麻薬資金・詐欺資金・汚職資金が金融システムに流入します。その為銀行には、巨額の罰金が科される事があります。

例：数千億円の罰金

まとめ

KYC ：顧客の本人確認

AML：マネーロンダリング対策

関係：KYC は AML の一部